

(2) 社会

ア 個々の問題の概要及びその通過率

—評価の観点—

思・判・表：社会的な思考・判断・表現

技能：資料活用の技能

知・理：社会的事象についての知識・理解

(◇：「活用」に関する問題)

学習指導要領の内容	問題番号	出題のねらい	活用	評価の観点	設定通過率(%)	通過率(%)
地理(1)ア	1	(1) 本初子午線を理解している。		知・理	80.0	87.1
		(2) 地図から大陸と海洋の位置関係を読み取り、インド洋を指摘することができる。		技能	65.0	73.4
		(3) アフリカ州について、緯線や経線を利用した国境線が多いことを理解している。		知・理	60.0	63.6
地理(2)ア	(4)	日本とロサンゼルスの時差を計算し、条件に合った文章で表現することができる。	◇	思・判・表	40.0	40.5
地理(1)イ	(5)	イルクーツクの地理的特色を3つの資料から読み取り、適切な雨温図を指摘することができる。	◇	思・判・表	65.0	55.7
地理(1)エ	2	3つの資料から適切な資料を選択し、読み取ることを通して、選択肢の正誤を判断することができる。	◇	思・判・表	60.0	55.1
地理(2)ア	3	(1) ① カナダと日本の領土と領海・経済水域の面積を比較して分かることを表現することができる。	◇	思・判・表	50.0	49.8
		② 海洋国家の地理的特色を表現することができる。	◇	思・判・表	30.0	29.5
		(2) 示された情報に合う地方を地図上で指摘することができる。		思・判・表	65.0	67.0
地理(1)ウ	4	(1) 資料から、インドの言語の特色について表現することができる。	◇	思・判・表	55.0	42.7
		(2) アメリカの二つの主題図を比較して、適切な降水量を指摘することができる。	◇	思・判・表	60.0	51.9
		(3) 複数の国の統計表を読み取り、ブラジルを示すものを指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	31.1
		(4) コートジボワールについてまとめた文を指摘することができる。		知・理	65.0	64.2
		(5) 資料から、EU加盟国の間の課題について表現することができる。	◇	思・判・表	60.0	62.2
歴史(1)ア	5	(1) 世紀を正しく理解し、条件に合う西暦年を指摘することができる。		知・理	45.0	31.3
		(2) 条件に合う時代を指摘することができる。		知・理	40.0	56.6
		(3) 4枚の写真に共通するテーマを表現することができる。	◇	思・判・表	40.0	18.9
		(4) 近世に活躍した人物を指摘することができる。		知・理	60.0	47.1
歴史(2)ア	6	(1) 前方後円墳を理解している。		知・理	80.0	69.8
		(2) 遺跡や遺物から、適切な時代を指摘することができる。		知・理	70.0	79.6
		(3) 資料を読み取り、地図中から適切な国を指摘することができる。	◇	思・判・表	50.0	34.0
歴史(2)イ	7	(1) 大化の改新と関係の深い人物について述べた文を指摘することができる。		知・理	60.0	49.5
		(2) 資料をもとに、墾田永年私財法の内容の概略を表現することができる。	◇	思・判・表	40.0	50.3
		(3) 示された平安時代のできごとについて、歴史の流れにしたがって適切に並べ替えることができる。	◇	思・判・表	40.0	37.3
歴史(2)ウ	(4)	平安時代の仏教の教えを指摘することができる。		知・理	60.0	44.1
歴史(3)ア	8	(1) 平清盛と足利義満が行った共通する政策を指摘することができる。		知・理	60.0	43.8
		(2) 源頼朝によって幕府が置かれた場所を地図上で指摘することができる。		思・判・表	70.0	53.2
		(3) 示されたできごとのようすから、御家人が幕府に不満を持つ理由を文章で表現することができる。	◇	思・判・表	60.0	63.0
歴史(3)イ	(4)	示された資料に関連のある人物を指摘することができる。		知・理	65.0	75.8

イ 個々の問題の教育事務所管内・地区別通過率

問題番号	問題の内容	設定 通過率	東青管内		西北管内					
			青森市	東郡	五所川原市	つがる市	西・北郡			
1	(1)	本初子午線の理解	80.0	89.8	89.7	92.0	84.1	83.1	92.2	80.1
	(2)	地図の読み取り～インド洋	65.0	78.3	78.4	77.5	68.2	69.4	69.6	65.9
	(3)	国境線の理解～緯線・経線	60.0	76.0	76.7	63.8	53.6	62.1	61.7	38.7
	(4)	時差の計算と表現～日本とロサンゼルス	40.0	43.8	43.5	47.8	43.0	44.5	48.3	37.9
	(5)	複数資料の読み取りによる雨温図の選択～冷帯	65.0	58.5	58.5	58.0	52.0	46.6	55.7	55.9
2		資料の選択と読み取り	60.0	57.9	58.2	53.6	56.7	57.4	57.4	55.3
3	(1)	① 資料の比較と表現～カナダと日本	50.0	53.8	55.1	31.9	42.4	37.9	48.3	43.9
		② 地理的特色の表現～海洋国家	30.0	36.8	37.3	28.3	21.7	22.1	23.5	20.2
	(2)	七地方区分の選択～中部地方	65.0	70.6	70.7	68.8	70.5	68.0	77.0	69.5
4	(1)	国の特色の表現～インド	55.0	46.7	47.2	39.1	38.5	43.1	36.1	34.6
	(2)	主題図の比較と読み取り～アメリカ	60.0	54.8	55.2	47.8	48.2	50.4	50.4	44.4
	(3)	複数の統計資料の読み取り～ブラジル	50.0	34.9	35.2	29.7	28.9	28.7	25.7	31.1
	(4)	国の特色の理解～コートジボアール	65.0	66.0	66.3	62.3	62.6	63.1	60.9	63.2
	(5)	主題図の読み取りと表現～EUの課題	60.0	69.7	70.1	64.5	56.3	61.6	56.5	49.9
5	(1)	年代の表し方の理解～世紀と西暦年	45.0	34.2	34.8	23.9	32.1	22.4	36.1	40.9
	(2)	時代区分の理解～古代	40.0	59.4	58.6	72.5	58.7	59.1	60.0	57.5
	(3)	複数資料に共通するテーマの表現～世界遺産	40.0	23.3	23.2	24.6	16.7	14.8	20.0	16.9
	(4)	歴史上の人物の理解～近世	60.0	50.9	51.4	42.8	45.8	46.6	47.0	44.1
6	(1)	前方後円墳の理解	80.0	74.2	73.8	81.9	59.1	56.2	57.8	63.2
	(2)	遺跡や遺物の理解～縄文・弥生・古墳時代	70.0	84.1	84.6	76.8	78.4	75.5	82.2	79.3
	(3)	東アジアで関わりのある国の選択～高句麗	50.0	35.7	35.1	44.9	29.4	32.5	25.2	28.3
7	(1)	律令国家の確立までの過程の理解～大化の改新	60.0	55.3	55.7	48.6	43.5	41.2	38.7	49.3
	(2)	墾田永年私財法の内容の表現	40.0	54.3	54.5	50.0	44.8	42.8	52.2	42.5
	(3)	歴史のできごとの並べ替え～平安時代	40.0	37.9	37.9	38.4	34.1	32.9	30.0	37.9
	(4)	仏教の特色の理解～最澄・空海	60.0	48.7	48.8	47.8	41.3	35.3	41.3	48.2
8	(1)	共通する政策の理解～平清盛・足利義満	60.0	47.2	47.3	44.2	36.5	36.0	37.4	36.5
	(2)	鎌倉幕府が置かれた場所の選択	70.0	54.2	54.3	51.4	53.5	54.8	55.2	51.0
	(3)	鎌倉幕府に不満を持つ理由の表現	60.0	65.8	66.0	61.6	55.2	54.8	56.1	55.0
	(4)	中世の文化の理解～世阿弥	65.0	78.0	78.1	76.8	72.5	69.2	75.7	74.4
教科全体（全小問の総正答数÷全小問の総解答数）			56.7	56.6	56.8	53.5	49.2	48.7	51.0	48.8

(単位：%)

	中 南 管 内				上 北 管 内			下 北 管 内			三 八 管 内		県全体		
	弘前市	黒石市	平川市	中・南郡	十和田市	三沢市	上北郡	むつ市	下北郡	八戸市	三戸郡				
82.5	81.8	90.3	86.5	73.7	90.3	92.5	94.9	86.0	93.5	94.5	89.8	85.5	85.8	84.6	87.1
67.5	66.8	70.0	67.1	68.6	74.9	79.9	76.1	70.1	76.3	79.7	63.3	73.7	74.6	70.5	73.4
59.2	61.3	69.7	46.8	49.4	60.1	70.0	59.9	52.2	57.9	60.6	47.7	63.1	63.6	61.2	63.6
37.2	37.2	40.4	41.7	29.4	42.2	41.2	50.6	38.6	42.1	44.6	32.8	37.4	37.6	36.9	40.5
52.3	53.9	50.9	51.6	46.3	55.2	54.1	61.4	52.7	54.6	55.2	52.3	57.8	58.7	54.2	55.7
54.4	52.7	57.0	63.5	51.4	57.3	56.4	58.4	57.5	52.4	53.0	50.0	51.5	52.3	48.5	55.1
50.1	50.6	54.5	42.9	50.2	50.4	55.3	45.5	49.0	54.6	57.3	44.5	47.1	47.7	44.5	49.8
31.5	37.6	16.6	20.2	28.6	28.7	34.5	39.1	18.5	23.4	24.0	21.1	26.0	24.9	29.9	29.5
65.3	65.5	63.9	66.7	64.3	64.3	63.3	68.9	62.7	66.2	68.0	59.4	65.4	66.6	61.2	67.0
39.9	40.1	43.7	33.7	41.2	42.6	44.2	43.7	40.7	41.5	42.3	38.3	43.1	43.5	41.5	42.7
49.5	50.6	46.9	50.0	46.7	49.1	52.8	48.3	46.6	54.0	56.7	43.8	53.8	54.5	51.3	51.9
28.0	29.3	22.7	27.4	27.8	32.8	34.7	31.6	31.9	26.0	26.9	22.7	31.2	31.8	28.8	31.1
60.5	59.4	66.8	58.3	61.6	63.5	69.0	63.5	59.0	62.1	65.3	50.0	67.1	67.4	66.2	64.2
57.6	59.3	48.4	61.9	54.9	60.2	68.0	67.1	50.1	58.5	60.8	50.0	63.5	64.2	60.8	62.2
27.0	27.8	34.7	25.4	16.1	33.3	36.9	33.7	30.1	27.8	30.0	19.5	31.1	30.3	34.0	31.3
58.2	58.0	65.3	67.9	41.6	63.2	69.5	57.6	61.1	70.2	69.8	71.9	44.4	45.5	40.3	56.6
18.8	18.9	11.9	24.2	20.4	14.8	14.7	14.4	15.1	19.5	19.5	19.5	18.1	17.8	19.1	18.9
43.9	43.7	46.6	46.4	39.2	48.5	50.9	51.2	45.0	48.5	49.9	43.0	45.4	45.2	46.2	47.1
65.8	65.2	64.6	68.3	67.5	71.2	70.2	68.6	73.4	79.0	81.9	68.0	69.9	69.6	71.0	69.8
74.1	74.0	79.1	73.0	70.6	79.4	80.6	83.3	76.3	79.0	81.5	69.5	80.4	81.0	78.2	79.6
32.6	34.0	30.0	30.6	31.0	36.0	34.3	34.7	37.9	36.9	38.2	32.0	33.5	34.9	28.4	34.0
44.8	45.0	48.0	44.4	40.8	49.6	48.9	52.7	48.5	53.8	55.0	49.2	49.0	48.6	50.6	49.5
51.1	53.9	55.2	47.2	36.5	49.0	53.8	46.0	46.7	51.9	53.6	45.3	48.5	49.4	45.3	50.3
37.6	38.5	35.0	36.1	37.3	37.0	35.8	40.4	36.2	41.3	40.7	43.8	36.9	36.3	39.0	37.3
41.5	43.8	34.3	34.9	44.7	47.3	51.6	49.4	42.7	46.5	45.8	49.2	40.0	41.1	36.0	44.1
43.3	44.7	36.5	50.4	37.3	44.8	48.6	46.8	40.5	51.5	52.4	48.4	41.4	42.1	38.8	43.8
49.5	48.6	54.2	53.6	44.7	56.6	59.6	56.6	54.1	49.4	49.9	47.7	54.0	54.2	53.1	53.2
58.6	59.0	59.2	59.5	54.9	65.2	70.2	64.0	61.8	61.8	62.4	59.4	65.7	65.6	65.8	63.0
71.9	71.5	68.2	78.6	71.4	76.7	75.9	85.1	72.9	75.4	77.4	68.0	77.6	78.4	74.8	75.8
50.1	50.8	50.5	50.3	46.5	53.3	55.8	54.9	50.3	53.6	55.1	48.3	51.8	52.2	50.4	52.7

ウ 内容・領域別結果の概要

内容・領域	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各内容・領域 の通過率(%)	設定通過率 (%)
世界の様々な地域	10	1(1)、1(2)	4(1)、4(3)	58.7	62.0
日本の様々な地域	4		3(1)②	46.7	46.3
歴史のとらえ方	4		5(1)、5(3)	38.5	46.3
古代までの日本	7	6(2)	6(3)、7(3)、7(4)	52.1	57.1
中世の日本	4	8(4)	8(1)	59.0	63.8

エ 評価の観点別結果の概要

評価の観点	問題数 (問)	通過率の高かった 問題	通過率の低かった 問題	各観点の 通過率(%)	設定通過率 (%)
社会的な思考・ 判断・表現	16		3(1)②、4(1)、 4(3)、5(3)、 6(3)、7(3)	46.4	52.2
資料活用の技能	1	1(2)		73.4	65.0
社会的事象につ いての知識・理解	12	1(1)、6(2)、 8(4)	5(1)、7(4)、 8(1)	59.4	62.1

オ 個々の問題の主な誤答例とその原因

問題番号	通過率(%)	主な誤答例(無答を含む) (カッコ内の数字は、抽出した解答全体に占める誤答の割合・%であり、 調査全体の誤答の割合とは異なる)
1(4)	40.5	時刻が不適切(28.0)、無答(13.0)、時刻の記載がない(8.0)
3(1)②	29.5	島国について説明をした回答(26.5)、資料から読み取った内容に関する回答(17.5)、無答(9.5)
4(1)	42.7	インドに来た他国の人が使用しやすい(10.0)、宗教に関連した回答(10.0)、多くの国の人が住んでいる(10.0)、無答(9.5)、他国でも使用されている(8.5)、植民地支配に関連した回答(4.0)
4(3)	31.1	ウ(30.0)、エ(16.5)、イ(12.5)、無答(1.0)
5(1)	31.3	1001～1100年(13.0)、無答(6.5)、900～999年(5.5)、900～1000年(4.5)、1000～1099年(4.0)
5(3)	18.9	時代を代表する建造物(47.5)、無答(17.0)、建造物の作り方の変化(5.5)
6(3)	34.0	新羅(23.0)、百済(16.0)、伽耶(8.0)、無答(6.5)、北魏(4.0)、宋(3.5)、倭(1.0)
7(3)	37.3	ウ→ア→イ(28.5)、イ→ア→ウ(10.0)、ウ→イ→ア(7.5)、イ→ウ→ア(6.0)、ア→イ→ウ(4.0)、無答(1.0)
7(4)	44.1	エ(26.0)、ア(14.0)、ウ(13.0)、無答(1.0)
8(1)	43.8	ウ(25.0)、イ(14.0)、ア(13.5)、無答(2.0)

- 1(4)では、誤答の原因として、時刻が不適切であるものや時刻の記載がないものが多いことから、時差及び時刻の求め方の定着が不十分であることが考えられる。
- 3(1)②、4(1)、5(3)では、誤答の原因として、条件を満たした表現ができていなかったことから、資料を適切に読み取ったり、学習したことを活用したりして、言語化する力が不十分であることが考えられる。
- 4(3)、6(3)では、誤答の原因として、適切な選択肢を指摘できなかったことから、文字資料や統計表など複数の資料を適切に読み取り、関連付けて判断する力が不十分であることが考えられる。

- [5](1)では、誤答の原因として、世紀を西暦年で正しく指摘できなかったことから、年代の表し方についての基礎的・基本的事項の定着が不十分であることが考えられる。
- [7](4)、[8](1)では、誤答の原因として、複数の人物から共通する特色を指摘できなかったこと、[7](3)では、選択肢を適切に並べ替えができなかったことから、歴史的事象を関連付けたり、つながりをもたせたりして理解する力が不十分であることが考えられる。

カ 今後の指導について

内容・領域別にみた課題としては、歴史的分野「歴史のとらえ方」の学習内容の定着が挙げられる。

今後の指導においては、小学校での学習を踏まえ、歴史的分野の導入単元として、扱う内容や学習活動の仕方に工夫が必要である。年代の表し方や時代区分について理解させた上で、時代の移り変わりに気付かせ、時代の特色を捉えさせることが大切である。

指導例

歴史の流れを基に各時代の特色を考えさせる指導 ～単元名「歴史の流れをとらえよう」～

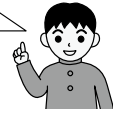

【指導の流れ】

1 ワークシートの年表の各時代にあてはまる「出来事カード」を並べさせる。

学習活動 個人で「出来事カード」をワークシートに並べる。



小学校で学習した主な人物と出来事を1枚のカードにしています。カードに書かれた出来事がどの時代のものかを思い出し、ワークシートに並べてみましょう。

世紀	時代区分	出来事カード	時代の特色
7	古 代	飛鳥 聖徳太子は摂政となり、冠位十二階の制度、十七条の憲法をつくった。	
8 9		奈良 聖武天皇が東大寺の大仏をつくらせた。	
10 11		平安 藤原道長が摂政となり、大きな権力をふるった。	
12 13	中 世	鎌倉 源頼朝が鎌倉に幕府を開いた。	
14 15		室町 足利尊氏が京都に幕府を開いた。	
16 17 18	近 世	安土 豊臣秀吉が検地や刀狩を行い、全国統一をした。	近世は「武士の政治が安定した時代」でどうかな。 
18		桃山 徳川家光が武家諸法度を改め、参勤交代の制度を加えた。	
19	近代	明治 大久保利通らは、富国強兵に力を入れた。	近代は「近代化が進んだ時代」でどうかしら。 

ポイント

- ・ 世紀や年代、時代区分については先に確認した上で学習に入るようにする。
- ・ 分からない場合は教科書などで調べさせたり、グループで作業させたりする。
- ・ 出来事カードは小学校の教科書を参考に、生徒の実態に合わせて教師が作成する。

歴史の出来事から、大きな時代区分の特色を考えよう。

2 完成した年表を基に、各時代の特色を大きく捉えさせる。

学習活動 完成した年表を基に、「古代・中世・近世・近代」の各時代の特色を短文でまとめる。



グループで完成させた年表の「時代の特色」の欄に、グループで話し合っ、それぞれの時代の特色について、同じ時代の出来事の共通点を出し合い、簡単にまとめてみよう。

【中世の例】

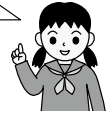


源頼朝は、源氏のかしらとして、東国の武士たちをとりまとめ、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼし、全国に守護・地頭を置き、鎌倉に幕府を開いたよね。



ということは、中世は武士が幕府を開き政治を行う中心になったということか。

足利尊氏は京都に幕府を開いたし、カードには書かれていないけど、3代將軍の足利義満のときに南北の朝廷が一つになったのよね。他にも、鎌倉時代では、元寇のときの北条時宗や、室町文化のときの足利義政も印象に残っているわ。つまり、共通点は武士が中心となっていることよ。



つまり、中世という時代は「武士が政治を始めた時代」ということね。



3 個に戻し、本時の学習に対するまとめをさせる。

(まとめの例)

日本の時代は、大きく分けると古代、中世、近世、近代に分けられる。古代は天皇や貴族が政治を行った時代、中世は武士が政治を始めた時代、近世は武士の政治が安定した時代、近代は欧米をまねて近代化が進んだ時代である。

4 振り返りをさせる。

ポイント

本時の学習を通して、もっと知りたい・調べたいと思ったこと、疑問に思ったことなどを振り返りの視点として示し、以後の歴史学習につなげる。

「活用」に関する問題についての課題としては、複数の資料を読み取ったり、学習したことを活用したりして表現するなどの力の向上が挙げられる。

今後の指導においては、複数の主題図を読み取る活動の仕方に工夫が必要である。例えば、アメリカの農業を学習する場合は、気温や降水量、地形と農産物の分布の関係性を考えさせたり、世界の他の地域で行われている農業と比較して考えさせたりすることが大切である。

指導例

複数の主題図を読み取り、自然条件と農業の関係性を考えさせる指導
～題材名「アメリカの農業」～

【指導の流れ】

1 本時の学習問題を設定させる。

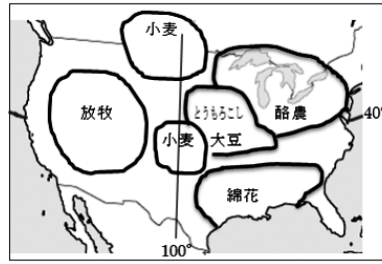
学習活動 北アメリカの農業地域を示した主題図を基に、主な農産物の分布を白地図にまとめる。



アメリカで行われている農業を白地図にまとめ、どこでどんな農業がさかんか、読み取ろう。



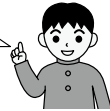
何か疑問に感じたことはありますか。



西経100度の周辺では小麦、それより西では放牧がさかんで、北緯40度より南では綿花、それより北ではとうもろこし、大豆、酪農がさかんです。



なぜ、こんなにはっきり分かれているのだろう。気温や降水量、地形などに関係しているのかな。



ポイント

- ・白地図にまとめることで、主な農産物の分布を視覚的に確認させる。
- ・自然条件の境目が西経100度、北緯40度付近にあり、農産物の分布にも関係していることをつかませる。

アメリカで生産される農産物の分布から、アメリカの農業の特色をまとめよう。

2 個人で調べた後、グループで話し合わせ、全体で確認をさせる。

学習活動① 個人で気温と降水量の主題図や地形を読み取り、表に整理する。調べる農産物はグループ内で分担する。

	小麦	とうもろこし 大豆	放牧	酪農	綿花
年平均気温	0℃と10℃の周辺に多い。	10℃の周辺に多い。	0℃～20℃まで広く分布している。	0℃～10℃のところに多い。	10℃～20℃までのところに多い。
年降水量	250～500mmや500～1000mmのところに多い。	500～1000mmのところに多い。	500mm以下の降水量の少ないところに多い。	500～1000mmのところに多い。	1000～2000mmの降水量の多いところに多い。
地形	プレーリーやグレートプレーンズに分布している。	プレーリーや中央平原に広く分布している。	ロッキー山脈の東側や西側の一帯に広く分布している。	五大湖周辺に多く見られる。	中央平原やアパラチア山脈の南側に広く分布している。

学習活動② 同じ農産物を調べた者同士のグループを作り、農産物が栽培される気温や降水量、地形の条件について話し合い、略地図などを入れてまとめる。

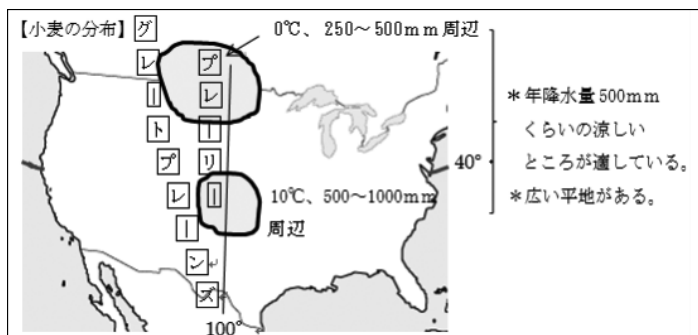
【小麦の例】



小麦は、年降水量が250～1000mmのところによく育つのかな。

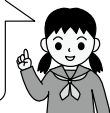


プレーリーとかグレートプレーンズのところで作っているね。広い平地に大規模な畑がありそうね。



グレートプレーンズでは地下水を用いた農業が行われていることから、降水量が少ないところは、この方法で小麦を作っているのだろうね。

小麦の産地は2つに分かれているけれど、年平均気温が0℃と10℃あたりだから、涼しい気候がいいみたいね。



ポイント

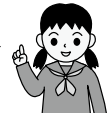
- ・気温や降水量と地形を関連付けて考えさせる。
- ・考えさせるための資料を他にも与えることで、考えを広げたり深めたりさせることもできる。

学習活動③ ②のグループで話し合ったことを発表し、全体で確認をする。



以前に学習したことを思い出して、各グループの発表から何か気付いたことはないかな。

中国でも稲作や小麦、大豆などの畑作は気温や降水量が影響していたし、黄河や長江の下流といった地形とも関連していたわ。



つまり、世界で行われている農業と気温や降水量、地形は関係があるということなんだね。



3 まとめをさせる。

(まとめの例)

アメリカでは、気温や降水量、地形が地域で大きく異なり、それぞれの環境に適した農産物が生産されている(適地適作)。

「活用」に関する問題についての課題としては、歴史的分野で歴史的事象を関連付けて捉え、時代の特色を表現するなどの活動が挙げられる。

今後の指導においては、単元のまとめの時間を指導計画に位置付け、各時代ごとの学習内容を、人物、政治、経済、文化及び外交などの視点から、比較・関連・総合しながら再構成する学習の中で、考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合う活動を通して、大きく時代の特色を捉えることが大切である。

指導例

「東アジアとの関わり」の視点から古代の特色を捉えさせる指導 ～単元名「古代までの日本」のまとめ～

【指導の流れ】

1 弥生時代から平安時代(国風文化)までの中から東アジア(中国や朝鮮半島)との外交で学習してきた人物を挙げさせ、本時の学習課題を設定させる。

学習活動 人物を挙げ、用意したカードをワークシートのマトリクスに時系列に添付する。



今までの学習の中から、外交や外国との関わりで印象に残る人物を挙げてください。



やっぱり、遣隋使を派遣した聖徳太子だな。

中国から日本にやってきた鑑真かしら。



〈用意するカード〉

倭の奴国王

卑弥呼

倭王武

聖徳太子

天智天皇

聖武天皇

鑑真

最澄と空海

菅原道真

今、挙げた9人は、どんな人たちですか。



天皇や貴族など政治の中心人物よ。



僧など仏教に関係する人たちだ。

2 マトリクスを作成させる。

古代の日本と東アジアとの関わりの特徴をまとめよう。

学習活動 個人でワークシートのマトリクスを作成する。

太枠の中にあてはまる内容を書いてください。



〈マトリクス例〉

時代	人名	東アジアとの関わり	中国	朝鮮半島
弥生	倭の奴国王	・漢（後漢）の光武帝に朝貢し、「漢倭奴国王」の金印を授かる。	漢（後漢） 魏・蜀・呉	高句麗
	卑弥呼	・魏に朝貢し、「親魏倭王」の称号、金印、銅鏡100枚を授かる。		
古墳	倭王武	・宋（南朝）に朝貢し、高い地位を認められるよう依頼する。 ・高句麗と対立。	北魏 宋（南朝）	高句麗 新羅 百濟 伽耶
飛鳥	聖徳太子	・隋（煬帝）へ国書を送る。小野妹子を派遣する。	隋	新羅
	天智天皇	・唐と新羅の連合軍に敗れる。（白村江の戦い）		
奈良	聖武天皇	・遣唐使が持ち帰った宝物が正倉院に収納されている。	唐	新羅
	鑑真	・遣唐使とともに来日し、唐招提寺を建立する。仏教の正しい教えを広める。		
平安	最澄と空海	・唐から帰国し、新しい仏教の教え（天台宗と真言宗）を伝える。	唐	新羅
	菅原道真	・遣唐使の派遣を停止する。		

ポイント

古代の学習について振り返りをさせるため、教科書やノートを使って調べさせる。

3 関わり方が異なる3つの時期を示し、それぞれの特色とキャッチコピーを考えさせる。



学習活動① 個人で考えて、自分のワークシートに記入する。

学習活動② グループになり、「東アジアとの関わり方の特色」についての情報を共有し、3つのキャッチコピーが決定したら、掲示用ワークシートに記入し、発表する。

東アジアとの関わり方の特色を踏まえて、キャッチコピーを考えましょう。

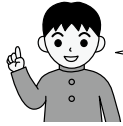


〈ワークシート例〉

時期	時代区分	キャッチコピー（例）	東アジアとの関わり方の特色（例）
I	弥生～古墳 	「中国、日本のことをよろしくお願ひ！」が、いいと思う。 ・中国に認めてもらいたい日本 ・技術は渡来人に学べ	・中国に朝貢することで、自国の安全や地位の向上を考えた時期。 ・渡来人から多くの技術を学んだ時期。
II	飛鳥	・新しい流行は遣唐使から ・日本、船で大陸に戦いに出る！ ・ドキドキ唐はいつ攻めてくる？	・聖徳太子は隋へ遣唐使を送ったり、天智天皇は唐や新羅の連合軍と戦ったり、不安定な時期。
III	奈良～平安 	・制度や文化の獲得 ・中国に追いつき追いつき越え日本 感謝の気持ちを込めて「今までありがとう中国」がいいわ。	・遣唐使からたくさんの制度や文化を学び、律令国家の発展に大きく貢献するなど安定した時期。

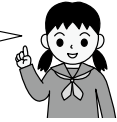
ポイント

- ・東アジアとの関わり方の特色に重点を置かせる。
- ・発表後に、質問や評価をして全体で交流させる。



東アジアとの関わり方が古代の日本にもたらした影響もあるんじゃないかな。

政治や文化も関連させながら、まとめようかしら。



5 個に戻し、古代の日本と東アジアとの関わり方の特色をまとめさせる。

(まとめの例)

古代において、東アジア世界の中心は中国であった。古墳～弥生時代は、中国に朝貢して地位を認めてもらおうとしたり、渡来人から多くの技術を学んだりした。飛鳥時代になると、遣隋使を送って制度や文化を学んだり、戦いがおこったりして関係は不安定だった。奈良～平安時代は、遣唐使の派遣が停止するまでは、中国から制度や文化を学び、日本の政治制度や文化に取り入れていった。古代の日本は、様々な技術、仏教、政治のしくみなどの多くを中国や朝鮮から学び、国づくりを進めていった。

キ まとめ

内容・領域についての学習状況は、歴史的分野「中世の日本」、地理的分野「世界の様々な地域」においては概ね良好である。しかし、歴史的分野「歴史のとらえ方」では、歴史学習の基礎的・基本的事項となる年代の表し方についての定着は十分とは言えない。

今後は、歴史的分野の指導においては、事象を扱う際、世紀や西暦年、時代区分など複数の年代の表し方も合わせて取り上げ、繰り返し指導を行うようにしたい。

評価の観点からみた状況は、「社会的事象についての知識・理解」においては概ね良好である。しかし、「社会的な思考・判断・表現」では、複数の資料を適切に読み取ったり、読み取ったことと事象を関連付けて表現したりすることについての定着は十分とは言えない。

今後は、複数の資料から読み取ったことを関連付けたり、既習事項を活用して自分の言葉で表現させたりする指導を行うようにしたい。

「活用」に関する問題についての状況は、十分とは言えない。設定通過率を5%以上下回った問題は、地理的分野で9問中4問、歴史的分野で5問中2問であった。

今後は、特に歴史的分野においては、単元のまとめの時間に政治、産業、文化及び外交などの視点で時代の特色や変化を捉えさせ、自分の言葉で表現させる指導を行うようにしたい。